

学校教育目標	「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」 ○自ら考え、進んで行動する子を育てます【知】 ○互いに認め合い、高め合う子を育てます【徳】【公】 ○たくましく、共に生きる子を育てます【体】【開】				
	創立 22 周年	学校長 岩崎 健治	副校長 増本 正己	2 学期制	一般学級：12 個別支援学級：3
学校概要	児童生徒数： 379 人 主な関係校： あかね台中学校 田奈小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	あかね台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する能力 問題発見し解決する能力 グローバル化の中で生きる力	あかね台中学校 田奈小学校 奈良の丘小学校	自ら進んで、学び、鍛え、共に生きる子ども ・9年間を見通した成長を考えた連携・相互理解のため、小中合同研修会を実施し、更に、共通の学校評価づくりを行います。 ・あかね台中学校ブロックで学校運営協議会を設立、家庭や地域および関係機関との連携をさらに推進することで、児童生徒一人ひとりが社会を生き抜く力の育成に努めます。・子ども像を共有しながら、細かな小中の情報交換を進めるために、定期的な校長会、専任会、教務主任会を設定します。

中期取組目標	だれもが安心して豊かに学べ、まちと共に歩む学校にします。 ○いじめのない学校をめざし、予防的な対応・早期発見・早期対応に努めます。 ○子どもが自尊感情を育み、自他をかけがえのない存在と実感できるよう努めます。 ○子どもが主体的に学び、成長を実感できる授業を実践します。 ○奈良のまちを知り、地域に貢献しようとする思いとまちを愛する心情を育てます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①自ら興味をもち、自分事として考えたり根拠をもとに話したりすることができるように、国語科の重点研究を進め、問題を解決する力を養う。②各学年で、見方や考え方を高めるために、どのような手立てを取るかなどについて取り組んでいく。
担当	推進部	
徳	道徳教育	①児童の「なかよし委員会」を新設し、より児童主体のたてわり活動にし、異学年のつながりが深まるように計画、実践していく。②地域とふれあい「人」とのつながりを大切に学習活動を継続、推進していく。③道徳教育の充実を図り、「礼儀」「向上心」など重点的課題に取り組んでいく。
担当	人権 道徳部	
体	健康教育	①一校一実践運動にストレッチ運動を取り入れ、年間を通して個々の体幹力の向上をめざす。②日々、自分の体力の伸びを感じられるように、体力テストの項目を休み時間に計測できる環境を整え、体力の向上に対する意識を高める。③校医の先生を招いて、児童と共に健康の高まりについて考える。
担当	体育部	
公 開	自分づくり教育 社会参画	①地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。②学年に応じて、地域の人たちが関わる学習活動を行い、働くことの意義を考えられる場を設定する。③6年間を通して、こどもの国でボランティア活動などを行うことで、公共心を高めるようにする。
担当	経営部会	
いじめへの対応		①学校の「いじめ防止基本方針」について全職員で共通理解し、いじめの未然防止に努めると共に、いじめに対して全職員が「絶対に許さない」姿勢でチームとなって対応していく。②アンケートや個人面談など様々な機会を通して、いじめの早期発見、早期対応に努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心に月1回の活動を継続して行う。②グループウェアを活用して情報を共有できるようにすることで、スムーズな学校運営に繋げる。③システムを整え事務の簡便化、効率化を図り働き方改革につなげる。④学校運営の共有理解する経営部会を行う。
担当	教務	
特別支援教育		①児童支援委員会や学年研の中で、あたたかい配慮を必要とする児童についての情報交換を行い、情報の共有をし、多くの視点から具体的な支援について検討する機会を設ける。②特別支援教育コーディネーター活用を推進し、具体的な支援について検討したり、特別支援教室を運営・活用したりする。
担当	特別支援教育担当	
児童生徒指導		①「奈良の丘スタンダード」を全職員が共通理解し、全職員が同じルールで指導にあたる。②学年研・ブロック研・児童支援委員会などを通じて、児童の様子について情報交換を行い、児童理解を深め、チームで継続的に児童を見守っていく。③小中連携を見据えた指導・支援にあたる。
担当	児童指導部	
地域学校協働活動		①地域行事等、学校が協力できることを考え、児童や職員が積極的に参加できるようにする。②奈良の丘サポートや学習ボランティアの方とともに、環境整備や学習・登校支援を継続して行える体制を考える。③より良い学校づくりのため、各地域の代表の方と情報を共有し、意見交換を行う。
担当	経営部会	
ICT活用推進		①学力向上と学習内容の充実のためにiPadの有効活用を推進する。②ICTを活用した外部への発信やICTを活用することによる校内業務の円滑な運営を図る。③オンライン授業の活用など時代にあった取り組みを推進する。
担当	教務 ICT担当	